学校番号	３０８

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・対象を観察して感じ取ったことを表現する力、伝達や目的に添って表現する力、感じたことや思考したことを表現する力を養います。
・形・色・空間・構成・テーマなどの美的要素と、美術の表現形式を学び、思考と体験を通して、自分の感じ方、見方や表現を深めましょう。
・美術作品や友人の作品を鑑賞して異なる見方や表現を味わい、尊重する姿勢を持ちましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
美術文化についての理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情をそだてる。
【学びに向かう力、人間性等】
感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練っている。 価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	【絵画Ⅱ【鑑賞】	オリエンテーション （美術とはなにか） ① 教科書の作品を鑑賞する。 ② 『美術とはなにか』を考える。 ③ 『美術とはなにか』について考えたことを生かしながら、スケッチを描く。 ④ 生徒同士でスケッチを鑑賞する。	a:教科書に掲載されている作品について、想像力豊かに鑑賞し意見を述べている。 b:作品から感じ取ったことや美術について考えたことを元に見方を深め、自身にとって美術はどういったものであるかを考えようとしている。 c:友達の発表を聞き、様々な考え方や感想に触れ、多様性を理解しようとしている。	ワークシート	作品	ワークシート 授業観察
	【絵画】	人物クロッキー ① 生徒同士でモデルを務め毎時間人物クロッキーを行う。 ② 自身のクロッキーの問題点を書き出し、次のクロッキーの改善に生かす。	a:鉛筆の削り方や使い方を理解し、指摘された改善点に気をつけながら練習を重ね、描写の技術を向上させようとしている。 c:自身のクロッキーの問題点に気づき、次の作品にそれを生かして表現するなど主体的に取り組もうとしている。	作品		作品 授業観察
	【デザイン】	美のデザイン （授業ファイル制作） ① 『美』という文字をレタリング技法やイラストを使ってデザインする。 ② 完成した文字を色鉛筆で着色する。 ③ 完成した『美』の文字を使ってファイルの表紙をデザインする。	a:色鉛筆の特性を知り、混色やグラデーション、濃淡などの表現技法を理解している。 b:個性豊かに構想を練って文字をデザインし、色鉛筆の表現技法を生かしながら感性豊かに美しく仕上げようとしている。	ワークシート	作品	
	【絵画Ⅱ【鑑賞】	校舎を描くⅠ （遠近法の理解と下絵の制作） ① 遠近法を学ぶ。 ② レオナルド・ダ・ヴィンチの『最後の晩餐』を鑑賞する。 ③ 線遠近法を使って『校舎の風景画』の下絵を鉛筆で描く。	a:線遠近法・空気遠近法・配置による遠近法と、ルネッサンス期における線遠近法の確立に至った歴史を学び、絵画作品への表現効果や作者の心情、意図、表現の工夫などを感じ取ろうとしている。 b:風景から自分が感じとったことを元に、線遠近法を用いた創造活動に取り組もうと構想を練っている。	ワークシート 遠近法テスト	作品	

2学期	【絵画】【鑑賞】	校舎を描くⅡ （アクリルガッシュによる着彩） ① アクリルガッシュの使い方、三原色のみを用いた空、建物、木の描き方を練習する。 ② 三原色＋白のみを用いて、『校舎の風景画』を着彩する。 ③ 生徒同士で作品を鑑賞する。	a:三原色の混色と絵の具を使った基本的な描き方について学び、表現技術を向上させようとしている。 b:アクリルガッシュの基本的な描き方を踏まえながら、自身の見方や感じ方を深め、主題を生成し、創意工夫して作品の造形的なよさや美しさを表現している。 c:他者の作品に触れ、同じテーマでも多種多様なものの見方、表現方法があることを感じ取り、多様性を理解しようとしている。	練習課題	作品	ワークシート
	【デザイン】	ペンで描く （ゼンタングルアート） ① 黒い紙に白いペンを用いて、画面を模様で美しく埋め尽くす。 ② 色鉛筆を使って着彩する。	a:1学期に学んだ色鉛筆の混色、グラデーション、ぼかしなどの技術をより高め、美しい色面に仕上げている。 b:多種多様な模様のサンプルを参考にしながら、新しい模様を作り出し、模様の組み合わせを工夫するなどして、美しいデザインを生み出そうとしている。	作品	作品	
	【絵画】	木彫りのにぼしⅠ （デッサン） ① 直方体の展開図を印刷した画用紙ににぼしをデッサンする。 ② デッサンした展開図を直方体に組み立てる	a:木を彫る前段階として、観察を深め描き込むことで、にぼしらしいねじれた形を立体的に理解するとともに、うろこなど表面的な特徴を掴もうとしている。 c:モチーフをよく観察し、粘り強く描き込んでいる。	作品		作品 授業観察
3学期	【彫刻】【絵画】	木彫りのにぼしⅡ （にぼしの模刻と彩色） ① デッサンを参考にして木ににぼしの形を写し、彫刻刀や切り出し小刀で形を削り出す。 ② 削り出した木ににぼしの模様をアクリルガッシュで描く。	a:切り出し小刀や彫刻刀の使い方を理解し、けがをせず正しい使い方で木を削り出そうとしている。 b:モチーフを３６０度眺めながら、どの角度からも立体的に形を捉え、にぼしらしいねじれや表面の模様などをじっくり削り出そうとしている。 立体的に仕上げたにぼしにアクリルガッシュを用いて着彩し、実物に迫るように仕上げている。 c:使い慣れない道具を用いて粘り強く彫刻したり、細部まで観察し根気強く描いたりしている。	授業観察	作品	作品 授業観察
	【デザイン】	フォトコラージュによる幻想の世界 ① 『構成美の要素』について実例を見ながら学ぶ。 ② 教科書に掲載されている写真を組み合わせてフォトコラージュする。 その際、『構成美の要素』を使って写真を構成する。	a:コラージュに使用する写真を選ぶ、またはそれらをコラージュする際に、『構成美の要素』を活用することでより画面構成を深めようとしている。 b:興味を引かれた写真を集め、それらからイメージを膨らませて主題を生成し、創造的な世界を構成しようとしている。	ワークシート	作品	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度